

# 製品取扱説明書

国土交通省 NETIS 新技術情報システム  
NETIS 番号：KT-160095-VR  
新技術名称：ハイドロフィット工法  
(含浸複合注入工法)

【用途】 コンクリート仕上げ用・吸水性のある天然石・レンガ用 防水剤

1. 一般名 無機質浸透・防水保護剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴 SKY-MXは無機質建材全般、天然石、レンガ、漆喰、木材、段ボール、文化財の表面に塗布すると徐々に浸透して防水効果を発揮する。  
SKY-MXは高い弾性を持っており凍害等における表面の劣化を防止し、シラン系と違いシロキサン結合による表面強化機能を持ち凍害、塩害と表面保護を目的としている。

**株式会社ハイドロ・スカイ**

製造・販売元 〒130-0002 東京都墨田区業平4-11-9  
URL: /www.hydro-sky.co.jp  
E-mail: hydro@hydro-sky.co.jp  
TEL.03-5637-8834 FAX.03-5637-8874



**HYDROSKY®**  
ハイドロスカイは商標登録商品及び社名です。  
**SKY-MX**



GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル：該当しない

4. 一般性状	
項目	内容
主成分	変成シリコン+高分子ポリマー化合物
容姿	1液性
荷姿	20kg入り・2kg入り
色相	乳濁液
光沢	乾燥後下地により光沢有り
比重	1.05~1.12 (20℃)
粘度	10mPa・s 以下
溶媒	水
P H	6.0~6.5
伸び率	250~260% (25℃)

5. 塗装基準	
項目	内容
洗浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。
養生	施工面以外、飛散の恐れのある所は、基本的に養生をする。特にガラス、アルミ、植栽等に付着しない様、出来る範囲で行う。
塗布	下地コンクリートは十分乾燥させてから塗布が効果的。一般的な塗布量は 0.12~0.25kg/m <sup>2</sup> だが防水目的の場合はこの限りではない。ローラー、ハケ、噴霧器で塗布する。施工面にグリースや油、塗料の一部などが固着していても機能上問題がなければ塗布可能。
乾燥	乾燥養生が長い程、強度が増す。

7. 関連法則	
危険物表示	該当無し
溶剤区分	無機溶剤
有害物質表示	該当無し
劇物表示	該当無し

8. 使用上の注意[警告]  
特別危険性はなく施工上の注意を厳守。

**9. F☆☆☆☆について**  
「フォースター」の表示は、塗料や内装材、建材で、「ホルムアルデヒドの放散量の性能区分を示す為に新たに表示する義務が定められたものです。F☆☆☆☆(Fフォースター)は、JIS工場生産されるJIS製品に表示することが義務づけられているホルムアルデヒド等級を示すマークです。  
ハイドロ・スカイは塗料では無く、水性無機化合物の劣化保護及び防水剤です。**有害化学物質**に指定されたシロアリ駆除剤の**クロルピリホス**及び、シックハウス症候群に関する**ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの1+5種類を有害規制薬物**に指定。従って有機化合物である**フォールムアルデヒド**は含まれていないため F☆☆☆☆に該当しません。

**10. VOCについて**  
VOCとは、Volatile Organic Compounds の略で揮発性有機化合物のことをいいます。WHOでは大気中に気体で存在する有機化合物のうち、沸点が50℃~260℃の物質の総称と定義されています。  
上記有機溶剤に関しては非該当です。

6. 施工上の注意
1. 使用前に容器をよく振ってからしよう下さい。
2. 施工場所以外にハイドロ・スカイが付着した部分はすぐに濡れたウエス等で拭き取って下さい。
3. 施工面が50℃以上の場合は、たっぷり水をかけて冷やすか日陰部分から塗布して下さい。
4. 冬、施工時が常温であっても夜間に5℃以下になる場合は施工直後に強制乾燥を行って下さい。
5. 塗布面のオイル・グリース・離型剤等を取り除く事ができ無い場合はその周辺より浸透させてください。
6. 塗布方法は特に選びません。躯体に充分含浸させることが重要です。
7. 塗布後の余剰分や残留分は、必ずよく洗った布で拭き取ってください。拭き取りが不十分の場合、材質によっては白い斑点が出る場合があります。開封後は速やかに使い切ってください。
8. 開封後は速やかに使い切り、残剤は容器中の空気と化学反応を起こすので、短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にして小さい容器に移し替え、内部の空気を少なくし密封、子供の手の届かない所に保管して下さい。また特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
9. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようにお願い致します。
10. 0℃以下での保存及び施工は行わないで下さい。
11. 凍結した材料の使用しないで下さい。